

Okahata

NEWS LETTER

vol.38

2024

10



全員熱人

化学品で**土木分野**へと貢献のフィールドを広げる。本気の戦いこそ**伊達と酔狂**と洒落こみ、ひたすら前進する。それが岡畑の熱い人々。彼らが作る未来に新たな**キングダム**を見る。

佐藤のすべらせる話

しゅんせつ

浚渫工事から 土木分野へ？



1

確実に滑らせて後を濁さない
最新の離型剤、浚渫工事でも実用へ

NETIS登録完了!

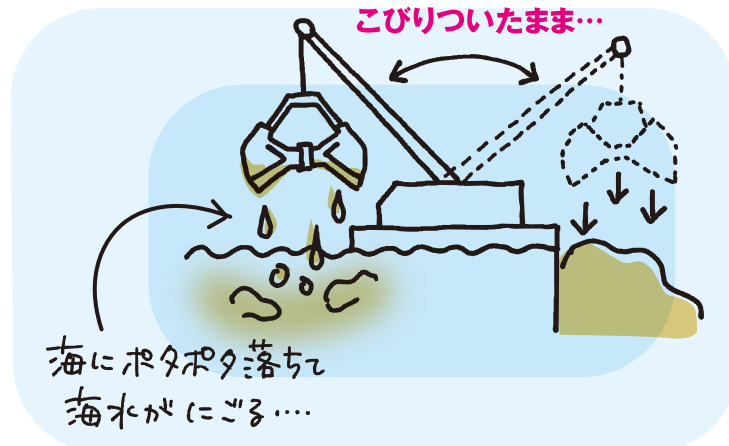


魚にプレゼンする男、佐藤です。 [Link](#)

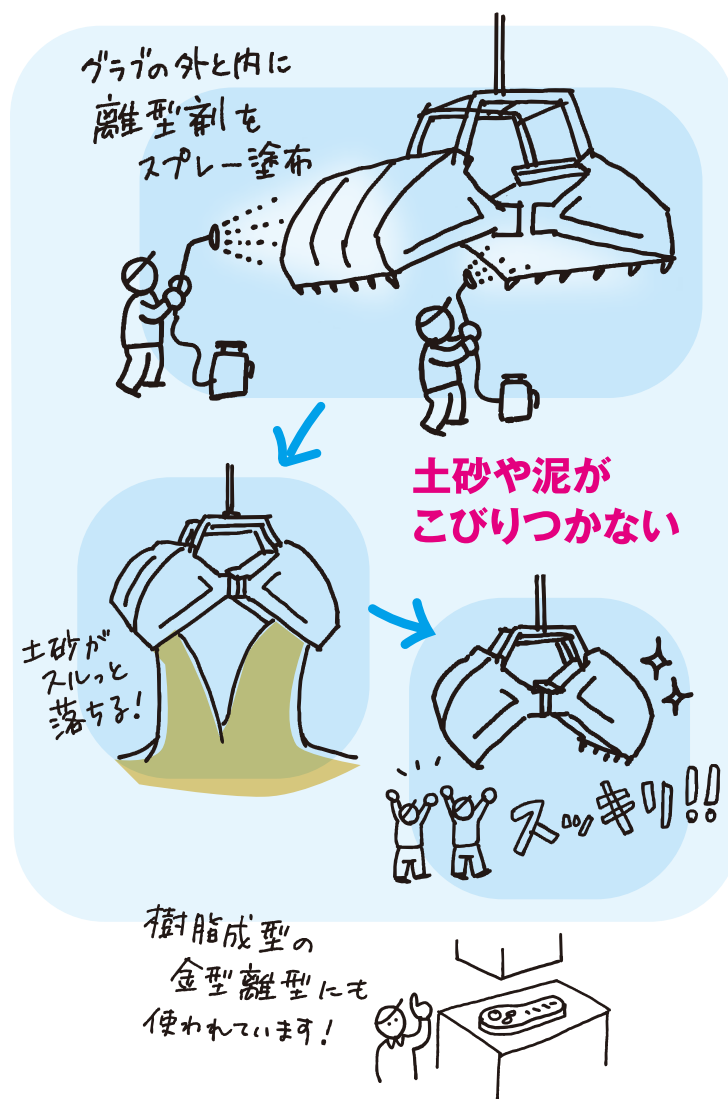
浚渫工事ってご存知ですか？船舶が安定運行できる安全な海や川の道を維持するために、港湾や河川で堆積していく土砂／泥を、定期的に取り除く工事のこと。

海底／川底の土砂／泥を大きなシャベルのような「グラブ」でさらって回収するプロセスで、グラブに付着した土砂／泥が海に落ちてしまい、海域の濁りや水質汚濁が問題になっていました。

土砂や泥が、グラブに
こびりついたまま…



そこで解決に登場したのが、大量のヌメヌメを滑らせるスゴいやつ、花王の**新しい離型剤**です。この離型剤を「グラブ」に塗布する事で、土砂／泥をグラブにこびり付かせず、スムーズに落とし、海域の水質汚濁を防止することに大成功。水質汚濁防止の効果が実証され、国土交通省認定のNETISへの登録を申請、この度正式に登録されました!



技術名称	環境配慮型浚渫工法
NETIS登録番号	QSK-170001-A
概要	土砂付着低減型密閉グラブバケット [分類] 港湾・港湾海岸・空港、浚渫工、 グラブ浚渫工、グラブ浚渫

NETIS(New Technology Information System)とは、国土交通省が運用する「新技術情報提供システム」で、民間事業者が開発した新技術を整備するデータベースのこと

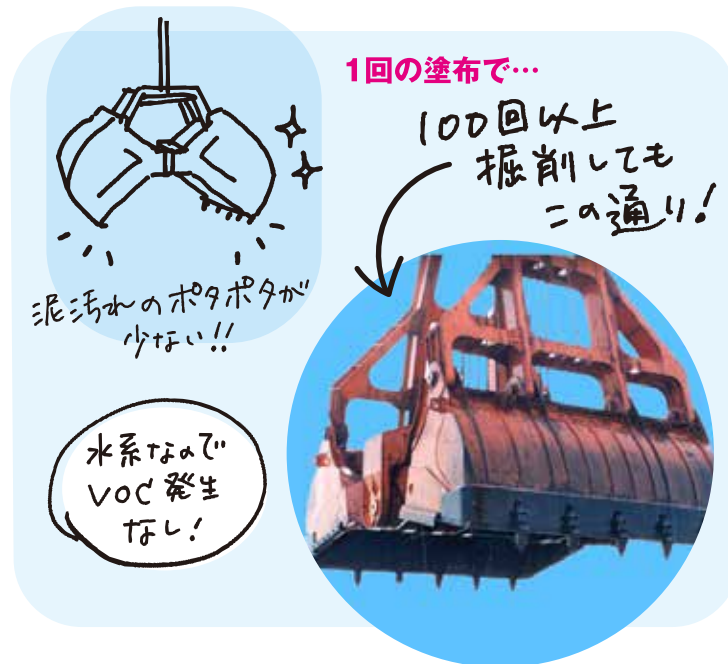
2

“汚れの付着防止と

清掃頻度激減”という効果

次は???

浚渫実証実験の際には、水質汚濁防止の効果が良かったことはもちろん、「グラブ」や「浚渫船と土運船の間の返し板」への汚れ付着が殆ど無く、乾いた汚れも軽く叩いただけで落とせるなど、**清掃回数激減(7回→1回、なんと約9割減!)**工事効率が良くなることもわかりました!



“**汚れの付着防止、清掃頻度激減**”という効果に注目しており、浚渫工事の周辺でも、浚渫工事業者さまから、下記の用途でも試したいというアイデアも頂いています。

- 港の壁面の藻、海上のブイの貝類の付着防止
- 工事現場の車の外装へ塗布
- 工事現場の車などのタイヤの側面への泥付着防止

3

土木工事での効果検証

をしてみたいので、一緒にトライしていただけるパートナー募集中です 🌞

工事現場というと、浚渫用途でテストする前に、バックホウでの泥掘削で**効果検証**をしたのですが、**泥の付着が著しく低減することは、証明されております!**

〈土木工事の掘削試験〉

離型剤塗布



土砂が残りにくい

塗布なし



泥の付着が多い

機械化された浚渫工事よりも、労働集約的な土木工事分野では、**清掃回数の激減**=もっと大きな生産性改善を示せるのでは???と考えています。

ということで、

**土木工事の生産性改善にご興味ある方、
一緒に工事へのトライしてくれる方、
募集しています!!!**

最近の化学品



坂出が選ぶ、最近の化学品コンテンツ!

佐藤が浚渫や土木工事時の環境配慮や作業効率を謳った製品を紹介していますが、その周辺の環境配慮型製品についても最近のブログなどから数点ご紹介させていただきます。

- **こちらは土木工事の短縮ではなく、ポリアミド成形時の工程の短縮を!** [Link](#)
- **没食子酸** [Link](#)
- **環境性反応性希釈剤** [Link](#)
- **バイオバランスSAP** [Link](#)

伊達と酔狂

米本 弘



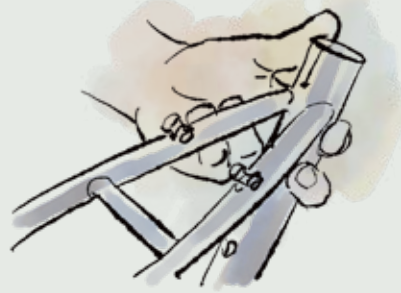
その店は当社の島之内本社のほど近いところに佇んでいる。日本在住38年のイタリア人店主が営むヴィンテージのロードバイク店である。店主の本業は建築家。齢60を超えて今なお、建築デザイナーとして活躍し、趣味のサイクリングを続けている。

店内には70-80年代のイタリア製スチールフレーム(正しくはクロームモリブデン)のロードバイクが所せましと展示されており、内部のロウ付け、ラグなしの溶接で強度を保つなど、当時の技術の粋を尽くした構造に惚れ惚れする。当時の競技者、怪物メルクス、時間レコードを打ち立てたモザールたちに駆られた、まさに走る芸術品のクロームモリブデン・バイク、いわゆる“クロモリ”バイクに思いを馳せることができる。

ブレーキレバー、ギアレバーおよび、クランクへ、“肉抜き加工”がふんだんに施されているが、工業製品としても、機能面的にも、無駄でしかないのではないか、とってしまう。



さらにその部分にイタリア国旗のトリコロールのタッチをいれるなど、もう“粋”というか遊び心でしかない。当時の職人に聞いてみたいのだが、まさに伊達と酔狂なのだろう。勝利のため、顧客の要求を満たし最大限のパフォーマンスを引き出す道具としての、作り手の意地と矜持がそこに感じられる。



時代は移り、鉄～アルミ～チタン、カーボンファイバーとフレーム構造が進化し、イタリアブランドの雄のBIANCHIやCORNAGOなどは自国イタリアでの生産をやめ、台湾、中国での受託生産に切り替えている。コスト競争の中で、失われるクラフトマンシップ。職人がもういなくなっているというイタリア工業の現実を話した時の、悲しげな店主の顔が印象的だった。

イタリア生産でないとダメと言っているわけでは決してない。受託生産(OEM)というビジネス構造で大切にしなければいけないものが失われつつあることに悲観しているのである。産業の成長に伴う、マスプロダクション化は自然の流れだと思う。職人のクラフトマンシップによる製品づくりと相反するOEMによるマスプロダクション化の共存をどうするのか、ということなんだろうと思う。

私たちの主戦場の靴業界のみならず、現在のほとんどのモノづくりの主流はこの産業構造。その中のいちプレーヤーとして、お客様から託されている、モノづくりにおいて

大切なもの、は必ず製品に反映するように心がけている。単なる中間業者になるなかれ、そこにクリエイターとしての矜持と仕事は、存在するのである。

我がフットウェア事業にはその心を理解しているShoedogsが活躍している。とても重要なことだから。いつか、店主に小生の生業をあかし、モノづくりと伊達と酔狂を語りたいと思っている。

最近のくつナビ



最近のフットウェア事業:

拙文、恥ずかしい限りですが、“伊達と酔狂”は、圧倒的な靴材料知識 (Material Excellence) と専門性が突き抜けた先にあり! その境地に達するためにも、くつナビは学び続けます。そして、みなさまの日々の学びのソースおよび、みなさまのモノづくりが、伊達と酔狂の境地に達するお手伝いを。(米本)

ということで、Big News 🎉

「御社のこだわりの(ややこしい)靴を作るお手伝い」
特設ページをオープン👉! [Link](#)

■ 帝人コードレさんとの靴の勉強会を開催しました! [Link](#)

X上では、帝人フロンティアさまにも [Link](#)
ご紹介いただきました!

■ モノマテリアルとは? [Link](#)
メリットや今後の課題も確認しよう。

■ オレフィン系樹脂とは? [Link](#)
特徴や種類も詳しくご紹介!

■ ベアフットシューズで得られる効果とは? [Link](#)
メリットや注意点もご紹介

キングダムと “隗より 始めよ”

～なぜ、社長自ら、
“熱い人々”社員インタビュー記事に
関わり続けるのか～

弊社人財系ブログ: 岡畑の熱い人々: [👉Link](#)

岡畑 典裕

映画キングダム(中華統一を果たした秦の始皇帝の物語)のシリーズをまとめ観た。春秋戦国時代の書籍(宮城谷昌光氏の「戦国名臣列伝」「管仲」「楽毅」等々)を読み漁っていた事もあり、面白い!

中国古代史に再度ハマったきっかけは、1991年に背伸びして読んだ「諸葛孔明」(陳舜臣著)を、2024年に再読、感銘受けまくったこと。当時、全くピンとこなくて、孔明カッコ悪うとさえ思ったのに、49歳の今、読むと、**悩める中小企業のおやじ**、孔明の憂鬱にグッとくる。華麗な軍師の姿はなく、敗戦撤退を繰り返しながら、**管仲や楽毅**といった名臣から学び、必死に繋ぐ人(Glue Guy)。領きと共感しかない、経営と成長の物語。



写真: 2023年末、和歌山の実家大掃除中、私物段ボールから発掘した、上下ハードカバー(ポロツポロの1991年第三刷)

「隗より始めよ」 ⇒「岡畑^{典裕} から始めよ」:

熱い人々インタビューを始めた理由

悩める中小企業のおやじ、岡畑典裕です。ONLではお馴染みの、①褒めたら→できる、②人と組織のフィット論、③経営者は庭師／羊飼、という話をする、「それでは、社員は成長しないのでは?」とよくツッコミを受けます。

「得意なことばかりやっていると、お客さまの求めるスキルが磨かれず、社員も会社も成長しないでしょ」という真っ当なご意見。

身も蓋もない回答をすると、経営次第。「成功する会社は、成功するように経営してるだけ」なので、“Comfort Zone”を飛び出して成長したくなる人が集まる経営をするしかない。中国古代史好き的には、「隗より始めよ」⇒「岡畑(典裕)から始めよ」。

よ



学んで掴んで結果 ＝頼りにされる、 という蜜の味:

米本の“伊達と酔狂”の根底には、学びが正しい方向に突き抜けちゃえば、結果は早晚ついてくる、というメッセージ。学んで掴んで結果が出る＝頼りにされる、この蜜の味を覚えると、自然と仕事の幅は広がるもの(出来るやつに仕事が集まる理論に近い。その先の先の先に、“伊達と酔狂”が待っている)。

成長しよう とする人比率:

「倉庫満ちて、礼節を知る」

(a) 企業として成長(=やることも粗利も右肩上がり)、
(b) 個の成長を後押し、躓きを否定しない、助け合う、
良いチームとカルチャー。このaとbが揃えば、自然に、
“Comfort Zone”を出て成長しようとする人比率は高ま

ります!

(a) は坂出米本が超前向き(かつ、戦略的)に動いてくれるので、**羊飼いな社長が始めたのが、(b) 良いチームとカルチャーづくり。イノベ型商社は、愚痴より行動(つてか、自分で直す)。情報も仕事も、自分で掴みに行くメンタリティー。前のめりな、助け合い。**

そんなチーム・カルチャーを、“Comfort Zone”を出て成長しようとするベテランから若手まで、社員目線でも語ってもらおう、と言うのが、熱い人々インタビュー・シリーズ。



カルチャーという、 見えないものを 形に:

熱い人々インタビューをはじめてみた理由

熱い人々インタビューシリーズの中でも、HFさんの「言いなさい」[Link](#) という話がすごく好きなんですけど、“普通はこれ言えないな”を言っちゃえる関係性こそ大事。

“言いにくかったり、まだ言語化されてない、本当に叫びたいこと”。にこそ人の本質もスイッチも、埋め込まれている。その叫びを引き出すために、インタビューは必死で長い(僕も編集側として汗💦)

インタビューされる側、読者に気付きのあるコンテンツになっている自負はありますが、製作側は、もはや、学びしかない。[書いているのは、シーブリーズ [🔗Link](#) の藤原さん!毎回成長／膨張する原稿(笑)ありがとうございます]



「最近の若者は …スゴいぞ」:

若手社員から学ぶこと

川野さんの、切り替えが早すぎて、誰もついて来れないエピソードはサイコーですし、[🔗Link](#)

山口さんの、オリンピックは出場するもの、と言う強烈な当事者感覚や、[🔗Link](#) 尾崎さんの“スーツで海外出張”という夢に一途なところとか、すごく印象的。[🔗Link](#)

切り替えの早さ、割り切りと集中力、当事者意識。根底にある人間臭さ。先日インタビューした菅さん曰く、「人間関係にドライな人は、岡畑興産には向かない」と。なーるほど。別にWetな会社なつもりはないけど、人間臭さは改めて大事(だそうです笑)。

は

読んでみたくなってしまった、そんなあなたに↓

熱い人々ブログの 正しい読み方:

タグを使って、読みたいテーマでまとめ読みされるのをお勧めします!

- 弊社リーダーの学び方／頭の中(の蜜の味)を知りたい人は [#熱いリーダー](#)
- 若手社員の成長／頭の中を知りたいければ [#若手社員](#)
- 海外駐在の面白さを語っているのは [#海外駐在希望者必見](#)
- 一気見／まとめ読むなら [#藤原さんシリーズ](#)
- ワタクシの癖のある経営話／叫びを読みたい稀有なニーズに応えるのは [#社長が書いた](#)



今は、化学品事業部メンバー中心のラインナップですが、
 今後は、フットウェア事業やMSD(弊社管理部門)、海外
 個会社の社員もインタビューする予定。

最後に： 天下人財、 募集中

ええ事ばかり書きますが、エンゲージメント・サーベイ
 への弊社社員からの手厳しいコメントを見ている、まだ
 まだ道半ば(書きたいことを書いてもらっている証左。感
 謝しかありません🙏)

成長し続ける弊社は、**若者／キャリア／アドバイザー採
 用も、門戸はワイドオープン**です。熱い人々インタビュー
 (やONL)を通 **じ**て、価値観もワイドオープンにして
 いるので、安 **じ**心して飛び込んできてください。
 ドアノックお待ちしております。

中国古代史、脱線コラム1:

「**隗より始めよ**」は、小国燕が天下の人財を集めた時の
 言葉。郭隗が「私の様な愚才を登用することから始めら
 れよ(さすれば、賢者が列をなして集まります)」と燕の昭
 王に提言し、実際集まってきた人財の1人が楽毅でした。

中国古代史、脱線コラム2:

「**倉廩満ちて、礼節を知る**」とは、齊の名宰相、管仲の言
 葉。貧しくとも、よく生きよ、な儒教的教えよりも、しっくり。
 勝ち残って、倉廩を満たし、僕らなりの礼節(チーム・カ
 ルチャー)を差し出していくのが、経営者の仕事。それを
 2600年前から実践していた管仲スゲーと思うのです
 が、孔明は1800年前に、管仲ヤベーと思ってたのを想
 像すると、歴史ってやっぱ面白い。

最後の最後に： 「隗より始める。 続ける。」

リーダーの頭の中を紐解きたいから、はじめめてみたのが2022年初夏＝第一号萩田さん“当たり前前の基準”インタビュー。[👉Link](#)

思いつきと戦略は紙一重。この思いつき(と深慮)に乗ってくれた、藤原さん萩田さん、ありがとうございます(初期のインタビューは短いつすね笑)

今でも一つ一つ完成させるのは超大変。この、夢中で積み上げる、没頭力と継続力こそが、弊社の強み、かもしれない。

弊社に興味ある人もない人も、好奇心をくすぐる何か、が得られるブログを続けていますので、ぜひよって下さい。

弊社人財系ブログ:岡畑の熱い人々: [👉Link](#)



■ 編集後記

歯滅の刃

(社内報Gazette2024年9月号より転載)

しばしば「編集後記」にお出ましいただいている大谷翔平くん。弱小チームエンゼルスから大企業のようなドジャースに移籍してから天邪鬼で判官鼻風の私はほとんど彼に興味がなくなり、試合を見ることもなくなっていた。

今回の50-50騒動で久しぶりに試合中継を見ると、あれっ、大谷くんの歯が白い！そして綺麗。歯列矯正したのかそれともインプラントか、はたまたホワイトニングをしているのか……、ひよっとすると私の勘違いかと、歯が気になって仕方がない。そこで日ハム時代のまだ細っこい大谷の映像を躍起になって見つけ確認すると、やはり違う、いや、違うように思える。当時は歯並びもやや悪いし色も何だか黄色く感じる。よく欧米人に日本人は歯並びは悪いしクリーニングもしていないと言われる、アレである。これだけコマーシャルに出ている大谷くんだから、きっと歯も大枚かけて綺麗にした(している)のだろうと、気がつけば試合そっちのけで口元ばかり見ている。

かつて王貞治氏が「バットを振る時強く噛みしめるので奥歯なんてボロボロでしたよ」とインタビューで語っていたことを思い出した。スポーツ選手の多くはきっとそういう経験をしているのだろう。現在レッドソックスで活躍中の吉田正尚選手も顎関節症の手術をしているそうだ。そして彼の歯もまた見事なまでに白く揃っている！きっと新庄監督と同じようにセラミックなんだろうな。高級車一台分ぐらいはかかっているのだろうと下品なことを考えてしまう自分が嫌になる。

そう言えばコロナ以降、マスクをつけていればまあいいか、と化粧だけでなくオーラルケアもおそろかになりがちだった気がする。30歳以上の成人の約80%がかかっていると言われる歯周病。最近は歯周病が全身に悪い影響を及ぼすことが明らかになり、入院・手術の前後に歯周病や虫歯の有無、日頃の歯のケア法の聞き取りなど、口腔状態をチェックする病院も多いようだ。歯並びが悪くなると虫歯が増え、それが歯周病の引き金となる。万が一のため、ちょっと気になる方は早めに歯科を受診することをお勧めする。ついでにペットを飼っている場合は、彼らのお口の中も確かめた方がよい。同じ環境下で暮らしていると、ご主人様が歯周病だとペットも歯周病であることが少なくないそうだ。始球式で大活躍のデコピンくんは毛並みと同様歯並びもいいんだろうな。

気がつけば歯がやばい! 「鬼滅の刃」ならぬ「歯滅の刃」に……。そうならないようにオーラルケアを実践し、マスクをとって美しい歯でニコリと笑えるようにしたいものだ。(kiki)

ニュースレター **バックナンバー**はこちら



岡畑興産株式会社 ニュースレター／不定期発行

2024年10月15日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2024.10.15 / Issue 038

© 2024 オカハタとアイデアと